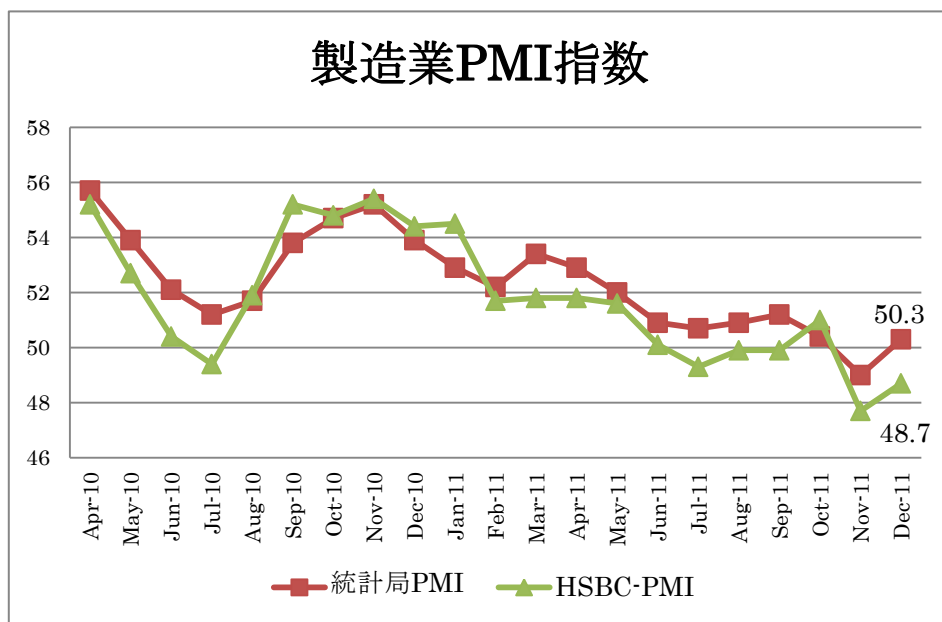


1日、国家統計局は12月の製造業PMI指数を発表

12月の製造業PMI指数は市場予想(49.0)を上回り、好不況の境目である50を上回る50.3となった。これについては、今年の春節が昨年より早く1月23日となるため、年末から元旦と春節に向けた消費の押し上げが大きかったこと、11月30日に発表され12月5日から0.5%引き下げられた預金準備率による金融緩和効果の影響を指摘する声が強い。しかし、不動産市況はまだ底を打っておらず、欧州通貨危機も収まる気配がないため輸出の復調も期待できないことから、むしろ1月には景況が悪化に転じ、今年第一四半期までは景気の減速幅が拡大するというのが外資系金融機関の主な見立てのようである。

ちなみに同日発表されたHSBCの製造業PMIは、サンプルに中小企業がより多く含まれていることもあり、ポイント改善したとはいえ好不況の境目とされる50に届かず48.7にとどまった。



◎深圳市が最低賃金を1500元に引上げ

昨年12月30日、深圳市政府は、2月1日から深圳市の最低賃金を1500元(2万円)に引き上げると発表した。現在の最低賃金は2011年4月から適用されている1320元で、引上げ幅は13.6%となる。1500元の最高賃金は全国一の水準。

今年既に最低賃金の引上げを発表したのは深圳の他は北京(1260元。1月1日から)、上海(1470元。4月1日から)で、今のところ引上げ発表を見送っている広東省(1300元)

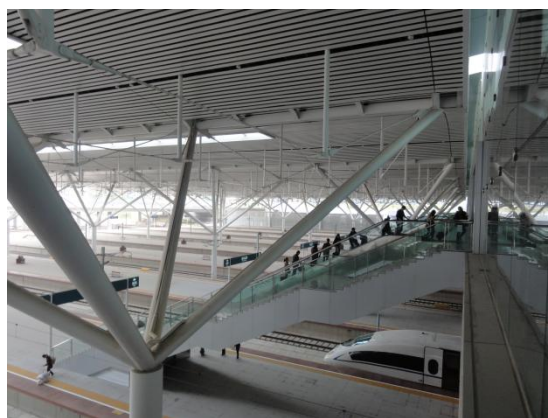
も近々引上げを発表するものと予想される。

なお、昨年最低賃金を引き上げたのは、全国 31 省市のうち 24 省市で、その平均引上げ幅は 22%であった。

◎広州南＝深圳北高速鉄道が予定通り 12 月 26 日に開業

武漢＝広州高速鉄道の終着駅「広州南」駅から「深圳北」駅まで 102km を結ぶ広州南＝深圳北高速鉄道が予定どおり 12 月 26 日に開業した。この路線は将来的には深圳北駅から更にアモイまで（アモイからは既に上海までの路線が完成済み）、また南に分岐して香港までつながる予定であり、深圳北駅は高速鉄道だけでホームが 20 番線まである巨大な施設となっている。

今回開業した区間の営業最高速度は 300km/h で、これまで「深圳」駅から「広州東」駅まで約 70 分かかったことに比べれば半分以下の 30 分で結んでいる。ただし深圳北駅、広州南駅ともに現在の市街地まで地下鉄でそれぞれ約 1 時間程度かかること、更に現在の運行は深圳北＝広州南間の折り返しのみで、広州南駅で武漢方面の高速鉄道に乗り換えるにはいったん駅を出て再度安全検査を受け直す等最低 20 分は必要（鉄道部は 1 時間を推奨）なことを考えると利便性は高いとは言えない。この路線が本来の役割を果たせるのは香港への延長線が開業するのを待つ必要があるようだ。



↑ 広大な広州南駅（左）と、開業したばかりの深圳北駅（右）

◎深圳に中国 5 つ目の「セントレジス」ホテルが開業。

ウェスティンやシェラトン等のホテルチェーンを経営するスターウッドリゾートのトップブランドホテル「セントレジス (St.Regis)」はこれまで長らく北京、上海にしかなかったが、一昨年にチベット自治区ラサに開業したのに続き、昨年末には相次いで天津 (10 月)、三亜 (11 月) そして 12 月には深圳にもオープンした。今後は南京、成都、長沙、珠海にも開業する見通しで、足もとでの不動産バブルの心配をよそに国際ホテルチェーンは積極的に対中投資を進めているようである。（ただし経営はフランチャイズである。）ちなみに日本にはセントレジスホテルは大阪に 1 軒しかない。（東京は計画があったものの頓挫してい

る。)

深圳のセントレジスホテルが入居しているのは完成したばかりの「京基 100 高層ビル」で、その高さは 442m と中国（香港含む）では第 4 位、世界第 11 位である。（ちなみに日本一の横浜ランドマークタワーは 296m で世界第 83 位。）宿泊料は 4 万円程度と他の国のセントレジスホテルよりは割安なようなので、興味のある方は深圳にお越しの際にぜひ宿泊されてはどうだろうか。



(以上)

Disclaimer: 本資料中の数字は注意してチェックしていますが正確さを保証するものではありません。

文章中意見にかかる部分は個人的見解でありいかなる組織の意見でもありません。